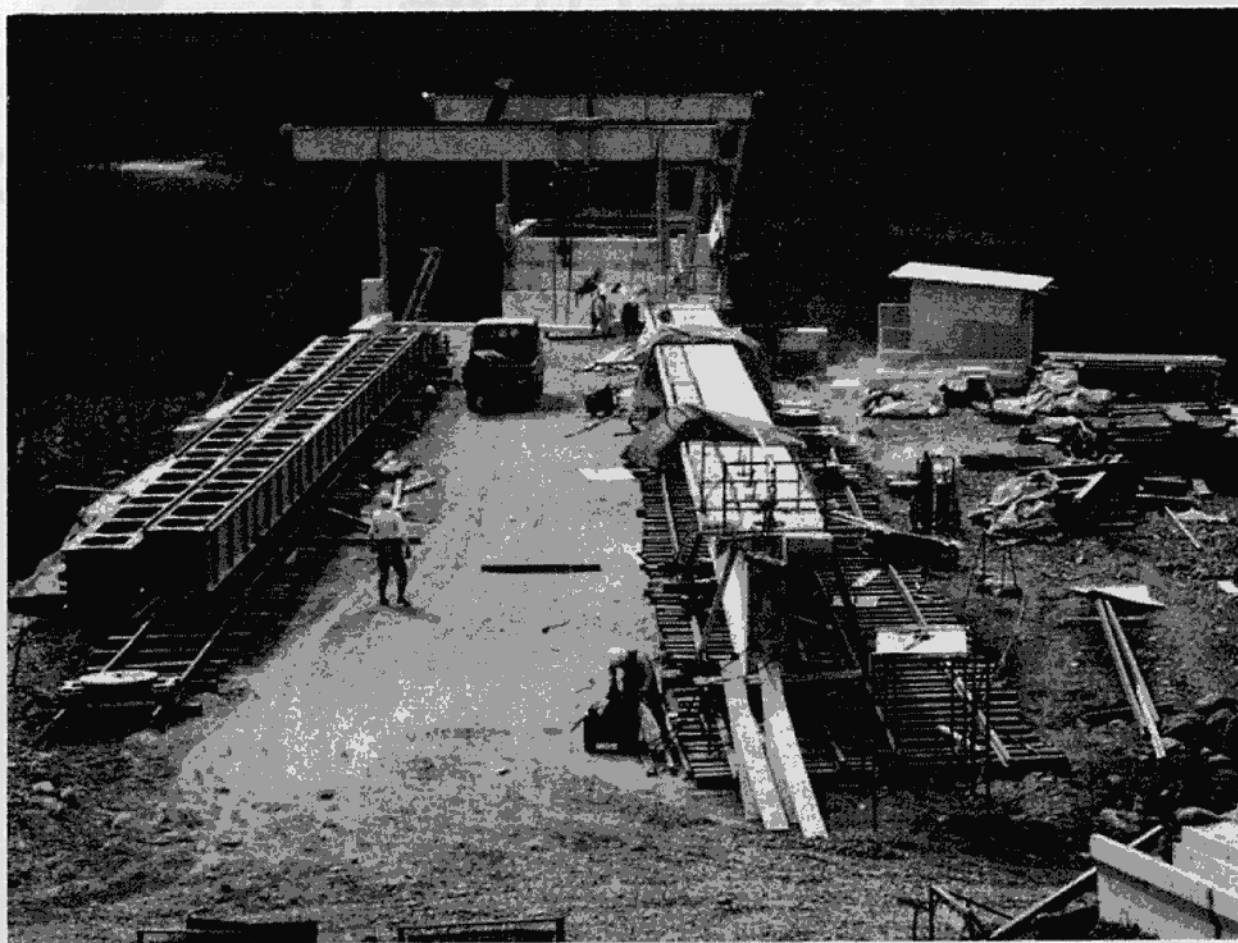


# 橋りょう上部の取り付け完了 鳴沢橋架け替え工事

市道四八号線(日小入口―丸美)の鳴沢橋架け替え工事は、昭和五十二年十月二十五日に着工、その後工事は順調に進められてきました。二月下旬、橋台の上に橋りょう上部が取り付けられ、鳴沢橋のけた組みが終了しました。けた組みした鳴沢橋は、橋長三五・八メートル、幅員七・七五メートル、うち歩道一・五メートルの永久橋です。今ま



橋りょうの取り付け作業

での木橋は老朽のため、四メートルの重量制限をしていましたが、完成後は大型自動車も通行できます。鳴沢橋の架け替え工事は、昭和五十二年年度から年次計画で進めてきました。初年度は、橋台一基と取り付け道路の一部を完了。五十三年度は橋台一基と取付道路、橋りょう上部一式を完了。五十四年

度は、橋りょうの舗装と取り付け道路の舗装を行い、鳴沢橋が完成します。なお、五十五年からは律院入口までの道路約千二百メートルの改良工事を行い、稲荷川橋までの全線を改良する予定です。市道四八号線の延長二・七メートルが改良されることによる利点は、生活道路としての活用はもろること、霧降方面から二社一寺に観光客が直行できるので、霧降大橋付近の交通渋滞の緩和にも役立ちます。また、道路沿いのほとんどが森林に囲まれている関係で、ハイキングや自然探勝にも利用されることでしょう。

## 国体リハール大会がことし日光で二回

### 四月に全日本登山体育大会

「のびる力、むすぶ心、ひろくあした」をスローガンに、第五十三回国民体育大会が、「栃の葉国体」として、明年栃木県で開かれます。日光市では、「山岳競技」と「剣道競技」の二種目が行われます。一年前に当たることしは、リハール大会として、日光で二つの大会が開かれます。その一つが「第二十回全日本登山体育大会」で、四月十九日(木)から二十二日(日)までの四日間、日光山系で開かれます。開会式は、四月十九日(木)午

後二時三十分から三時三十分まで総合会館で行われ、一般も参観ができます。最終日の二十二日(日)に行われる閉会式は、午前九時から十時まで、同じく総合会館で行われます。閉会式に先立ち、市役所前から総合会館まで、市中行進のパレードも行われる予定です。もう一つのリハール大会は、「第二十一回全国教職員剣道大会」で、近く完成する「日光市体育館」で、八月十日(金)に開催されます。

表紙のことば

## シリーズ 知れば知る 北野神社と石掛手

開山堂から、老杉の中の石だたみ道を少し進むと、左手に石鳥居があつて、その奥に菅原道真公を祀る「北野神社」の小祠がある。道真公(八四五―九〇三)は、平安前期の学者で、また政治家でもあった。醍醐天皇の時、右大臣にまでなったが後に九州大宰府に左遷され、そこで亡くなった。東風吹かば……の歌で知られるとおり非常に梅を愛した。北野神社背後の岩面には、大きな梅鉢紋が刻まれ、ほかに、小祠の屋根や石灯籠に梅鉢紋がある。道真公は、書をよくし、三聖の一人といわれた人。その霊は、文道の神として、京都の北野神社(北野天神、天満宮)に祀られている。

日光に北野神社を勧請したのは、築紫安楽寺の大鳥居信幽という人で、寛文元年(一六一六)二月のことだといふ。この小祠に詣で、学問向上